

紫

SHIWA-NET

地域をサポートする広報紙

波 ネット



特集

「Close Up Shiwa
いきいきふるさと紫波」

地域の安全は地域で守る
固い決意と信頼が原動力です
～紫波町消防団の活動～



泣き相撲大会
町の話



犬の訪問交流会
町の話

地域の安全は地域で守る
固い決意と信頼が原動力です 02
～紫波町消防団の活動～

- 10 地域を元気にする団体を支援しています
- 14 環のくに紫波「エコbeeクーポンをもらおう」
- 16 健やかランドしわーしわ健康情報コーナー

- 22 こちら、あらえびす記念館
「銭形平次を読み解く」第3回
- 24 いってみよう～しわむかしばなし編～
観音様に守られた娘が命を宿した地 赤沢廻田



朝日がきらめく初夏の北上川



紫波ネット793号 平成22年6月9日発行
岩手県●紫波町 〒028-3392紫波町日詰字西裏23-1
印刷・川嶋印刷株式会社

<http://www.town.shiwa.iwate.jp/>

VOL.3
町名由来
し
わ
紫波
(その3)

「紫波」という地名は、アイヌ語の「シ・ワッカ」が語源という説もあります。「親なる川」や「本なる川」という意味で、前回「シバ」と同様に北上川と栗石川が合流する以南の呼び名であったと考えられています。

地域の安全は地域で守る 固い決意と信頼が原動力です ～紫波町消防団の活動～

私たちの暮らしの安全を守る活動には、大きく分けると防災と防犯があります。今月の特集では、防災の中でも特に、火災から地域を守る、紫波町消防団に注目し、普段は知ることの少ない消防団の活動について紹介します。何かと多忙な現代社会の中で企業や家族、そして地域の理解がなければ消防団の活動は続けることができません。消防団の活動を支えているのは団員のボランティア精神です。そこには、地域の安全は地域で守るといふ団員の固い決意と信頼の絆（きずな）があります。かけがえない安全な暮らしは、身近にいる地域の消防団が守っています。



クローズアップ
CLOSE UP

いきいきふるさと
Shiwa

心豊かに誇りたくふるさとに生きる地域の皆さんを紫波ネットが応援します。

知ってほしい！ 消防団ってどんな団体？

地域の安全と安心を守るために活躍する消防団

江戸時代に始まる町組織

そもそも消防団はいつからあるのでしょうか？ それは、時代劇に登場する町火消しを想像するといいでしょう。消防団の歴史は江戸時代にまでさかのぼります。八代將軍吉宗が、江戸南町奉行の大岡越前守に命じ、町組織として町火消「いろは四十八組」を設置させたことが今日の消防団の前身であるといわれています。

消防は各自自治体が管理しています

消防機関の設置、管理運営は市町村の責任と定められています(消防組織法第6条)。法律の定めるところにより、市町村は消防事務を処理するための機関として、消防本部、消防署および消防団のうち全部または一部を設けなければなりません(消防組織法第9条)。消防庁、都道府県は必要な助言、指導、支援を行っています。

消防署は、消防団を指導・支援しています

消防防災活動の第一線を担う消防署員は、消防学校などの専門教育機関で長期間の教育訓練を受けたプロ集団です。一方、消防団員も消防学校での訓

練や研修の機会があるほか、消防署の指導の下、消火活動技術の研鑽が行われており、各自の仕事に従事しながら、必要に応じて火災予防活動や消防防災活動を行っています。

消防団員は非常勤特別公務員です

消防団員は、消防署員と同様に火災や人命の救助に出動するともに、火災予防の啓蒙普及活動を行うため、町では条例の規定により、公務災害の補償と、活動の労苦に報いるための出動手当や報酬などを支給しています。手当や報酬は一般的な給料とは違い、実質的な経費にとどまるものです。消防団員は、郷土愛や社会奉仕といったボランティア精神で活動しているため、報酬のために活動するという発想はありません。

あなたも消防団で活動してみませんか

消防団は「厳しい、つらい、きつい」というのは、過去の話です。近代装備を備えて地域の日常を火災から守る消防団は、気負うことなく、無理せず規律正しく、地域貢献の誇りをもって日常の活動を続けています。



<紫波町消防団の条例定数>

604人(実員数552人)

<紫波町消防団組織>

紫波町長

紫波町消防団

団本部(町全域)	
団長	1人
副団長	2人
本部長	1人
副本部長	3人
ラッパ長	1人
ラッパ隊	24人

- 第1分団(日詰1区~20区) 第1部15人 第2部15人
- 第2分団(古館1区~19区) 第1部18人 第2部18人 第3部18人 第4部18人
- 第3分団(水分1区~13区) 第1部17人 第2部17人 第3部15人 第4部17人
- 第4分団(志和2区~7区) 第1部17人 第2部17人
- 第5分団(志和8区~13区) 第1部17人 第2部17人
- 第6分団(志和14区~21区) 第1部15人 第2部17人 第3部15人
- 第7分団(赤石1区~11区、18区~20区) 第1部15人 第2部15人 第3部17人
- 第8分団(赤石12区~17区) 第1部15人 第2部15人
- 第9分団(彦部1区~10区) 第1部17人 第2部15人 第3部15人
- 第10分団(佐比内1区~9区) 第1部15人 第2部17人 第3部15人
- 第11分団(赤沢1区~8区) 第1部15人 第2部15人 第3部15人 第4部15人
- 第12分団(長岡1区~11区) 第1部17人 第2部17人

・各分団に分団長1人、副分団長1人



消防団員にインタビュー

期待の新人、 畠山智洋さんの 日常

森田製作有限会社に勤務する畠山智洋さんは、身長185センチと恵まれた体格の持ち主です。第3分団第3部に所属しています。畠山さんは消防団員になって、どんなことを感じているのでしょうか。団員となった経緯から、その後の日常をお聞きました。

普段の暮らしの中で
消防団員は
どんな活動をしていますか？



○地域のこともっと知りたいと思いました

私の出身は滝沢村ですので、紫波町に来てすぐのころは、町のことは何も知らなかったし、地域の清掃などの活動でも、なかなか地域の皆さんと会話もできない状態でした。なんとか町のことをもっと知りたい、地域の皆さんとも交流したいと思っていた時期に、職場の先輩から消防団員への参加を誘われたのです。最初は自分ができるかどうか迷っていましたが、1カ月後には入団していました。地域を知るためには、一緒に行動することが必要だと思ったのです。

○団員になって地元の仲間入りができたと感じています

団員になる前と団員になってからの自分を比べてみると、自分でもずいぶん変わったと思います。あれほど人と接することが苦手だったのに、今では地域の人と気さくに話せるほどになりました。団員には同じ地域の先輩もいるので、不安無く地域に溶け込みました。

○できないと思うより、やると決意する

仕事と消防団の活動は、両立するののかと聞かれますが、仕事は仕事として誠実に務めたいし、



たいと思います。6月に行われる次会の審査会では、自分でも満足できるように、本番の競技会を目指して頑張りたいと思います。

○消防操法審査会に参加

5月23日に行われた消防操法審査会にチームの一員として参加しました。審査会では、自分では気づいていない指摘がありました。ホースの状況変化に動じずに対応できる動きを身につけたいと思います。



仕事場の様子

畠山さんの昨年度1年間の活動

- 4月 消防団総会で操法競技会出場選手指名
- 4月～6月 操法競技会に向けて練習の日々(週4回)
- 7月～9月 夜警見回り(月に2回の出勤)
- 9月 紫波地区操法競技会(昨年はケガで出場断念)
- 10月～1月 夜警見回り
- 2月 新年度に向けて操法訓練開始(今年はチームの士気が高く、2月から練習開始)

※一部同時進行の活動もありますが、活動の流れを分かりやすくするために簡潔な表現としています。

ある一日の日程

- 5:00～6:30 操法練習
- 8:15～17:00 仕事勤務
- 17:00～19:00 陸上練習(ハンマー投げ・砲丸投げ) 県民体育大会に出場経験あり
- 22:00 就寝

陸上の練習は、母校盛岡工業高校でやっています。最近では、陸上の大会に出ようかと思うようになったので、ほぼ毎日練習に通っています。

消防団員は、どんな日常生活を送っているのでしょうか。身近に団員がいても、その日常を知る機会は多くありません。消防団員として、何が求められているのでしょうか。新人、ベテランを交えて、消防団員の日常をお聞きました。

仕事仲間の信頼が無ければ続かない

森田製作有限会社 代表取締役 森田博英さん

消防団活動を続けるためには、何が大切かを考えなければなりません。私も消防団活動を行っているのでよく分かるのですが、本人が日ごろ仕事に真剣に向き合っているかどうか、非常に重要なことだと思います。地元の火災の時には、働く職場の上司の許可が無くては出動できません。畠山くんの場合も同じです。私が経営者として活動を認めているのではなく、職場の先輩や仲間が、日ごろの彼の仕事ぶりを認めているからこそ、活動に参加できるのです。日ごろの活動と仕事の関係づくりを本人がしっかりと捉えているからこそ、仲間に認められているのだと思います。



無理せずできる範囲で活動すればいい

第七分団団長

高野勝夫さん



世の中では「消防団は厳しく、しかも、火事や水害など有事の際は、無理をしても活動しなければならぬ」と思っている人が多いかもしれませんが、しかし、実際はそんなことはないし、そうであってほしくないと考えています。ただ、それぞれができる範囲での無理はお願いしたいです。わたしは、分団長として団員たち

に、「非常勤の特別地方公務員とはいえ、消防団活動はボランティア活動の一種なのだから、自分のできる範囲で活動すればいいんだ」と言っています。誰でもできる範囲でしかできないのです。何事もそうでしょうが、無理をしても長続きはしません。地域に育てられたわたしが、地域のために役に立つことができるのなら、それは消防団活動であり、入団できたことを幸せに思っています。日ごろの活動は無理しなくてもいいと言いましたが、操法競技大会だけは別ものです。厳しい練習を重ねて出場するのだから、選手自身のためにも優勝を目指して頑張してほしいのです。

消防団は地域を最もよく知る頼れる存在です

紫波消防署長 館澤和雄さん



時代を経るとともに複雑多様化する災害や救急業務、技術の高度化が進む火災予防業務などに対応するため、消防職員および消防団員は技術向上のための教育訓練を受けることが求められています。紫波町は、岩手県消防学校のある矢巾町に隣接していることから、私たち消防業務に当たるものにとり、恵まれた環境にあると言っていることができます。

地区民運動会の応援団長が消防団員に

女性消防団員のパイオニア
加藤櫻さん



4月より第2分団第4部に所属しています。1995年に町の住人となりました。同じ行政区の班長から誘われて消防団員になりましたが、後方支援ではなく実際に出勤する団員としての参加です。お誘いを受けて正直なところ、何で私？ と思い、よく考えてみると思い当たることがあったのです。地区民運動会の応援団長として大きな声で応援していた自分を思い

出しました。火災現場では大きな声で指示内容を伝達しなければならぬと指導を受け、なるほど納得の人選です。班長の見る目が確かだったのか、今では週に1回のポンプ車などの操作練習にもめげずに参加しています。緊急出勤の場合もあるので、買い物に出かける時もマイカーに装備一式を積み込んで出かけています。準備万端怠ること無しです。

消防職員と消防団員の大きな違いは、消防団員にとって消防業務が専門職業ではないということ。にもかかわらず、消防技術も時代の変化に対応した能力が求められます。消火活動や火災予防に必要な技術や知識を習得するために、生かす時間をさいて教育訓練に参加している消防団員の皆さんには敬意を表したいと思います。

特に注目すべきは、消防署と消防団の連携体制にゆだねないことです。消防署にとり、地元に着して地元のことを詳細に知りつくしている消防団は頼れる

存在となつていきます。消防団無くして地域の安全は守れないと言っても、過言ではありません。消防署と消防団とは、それぞれ荷車の一輪を担っている関係なのです。どちらが欠けても役に立ちません。最後に、消防団の魅力を一つ挙げるとすれば、私は「異業種間の交流ができること」だと思います。人の輪、交流の輪が広がり、人間形成においてこれほど視野の広がりを感じることで活動は、そう多くはないでしょう。

消防操法 審査会 レポート

きびきびとした動作と
確かな技術が
求められる消防操法

7月4日(日)に開かれる盛岡・紫波地区支部消防操法競技会に向けた紫波町消防操法審査会が、北上川沿いの河川グラウンドに隣接する消防操法訓練場において行われました。出場する3チームの操法技術を紫波消防署員が審査、消防団各チームは審査結果を受けて、競技会での成績向上のために今後の訓練の参考とします。



4 3番員と4番員が吸水ホースを水槽に固定し、ポンプを操作して送水する。
(小型ポンプは2番員と3番員が行う)



1 集合
(足の位置や服装の乱れも減点対象となる)



5 火点に向けて放水する。タイムは水圧で表示板が倒れるまでを計測。(小型ポンプは8へ)



2 車両に乗車して「操作始め」「よし」の合図でタイム計測が始まる。



6 指揮者の「第2線放水始め」の合図により、2番員と3番員が2線目のホースをポンプ車からつなぐ (2線目もタイムが計測される)



3 1番員と2番員が火点まで3本のホースをつなぐ。
(小型ポンプは指揮者と1番員が行う)

消防操法とは

消防操法は、消防署員や消防団員が消火活動をするための基本操作で、消防庁の定める『消防操法の基準』によるものです。

全国大会もあります

競技として全国大会が行われ、『消防操法の基準』と『消防訓練礼式の基準』に従って、消火作業の早さや正確さ、士気、安全性などを競います。

ポンプ車と小型ポンプ

競技には、消防車両と一体となったポンプを使用する「ポンプ車操法」と、持ち運ぶことができる小型エンジンポンプを使う「小型ポンプ操法」の2種類があり、全国大会の予選となる県大会に進むために、支部大会(紫波郡と盛岡市)と町大会が一年おきに開催されています。

<指揮系統図>



※盛岡地区広域行政事務組合=盛岡市、八幡平市、雫石町、葛巻町、岩手町、滝沢村、紫波町、矢巾町の2市5町1村が消防事務を共同で行う目的で設置した組織。



7
1番員が1線目のホース、2番員が2線目のホース、3番員がとび口を持って構える。
※とび口は、消火活動を補助するため、建物の破壊や焼けた木材の撤去などに使用する鋭利な金具の付いた棒。



8
指揮者の「放水をやめ」の合図で放水をやめ、「おさめ」の合図で撒収する。



9
各隊員はポンプ車の位置まで戻り、人員と服装を点検し、指揮者は終了申告をする。

写真は第11分団第2部の皆さんです

紫波町消防団団長 八重樫茂さん

1955(昭和30)年に現体制の消防団が発足して、早55年の歳月が過ぎました。20歳で団員となった私は、50年の経歴を積んだこととなります。消防団は時代の要請に応じながら、日々進化し続けています。消防装備だけを見ても隔世の感があります。ハイテク技術に彩られた機械装備は、新しい時代の教育を受けた若者の格好の活躍の舞台ではないでしょうか。新しくなった服装は、若者からも好評です。

消防団活動は、地域協働の活動です。地域の理解や協力がなければ成立しないものなのです。若者も高齢者も、できる

若者の特技を生かせる場が消防団にはあります



ことから始めて、消防団活動に協力していただけることを期待しています。地元高校生によるラッパ隊への訓練参加は頼もしく喜ばしいことだと思えます。消防団としては、OBによるサポートも期待したいところです。優れた技術と経験を生かして、後進の指導にあたってほしいと考えています。

そして急務となるのは、基本団員(通常の団員)の増員です。かつてこそ消防団に参加した若者たちも熟年を迎えています。後顧の憂いを残さぬように、地域の安全を守るために、多くの若者の参加を呼びかけたいと思います。



消防演習に勢揃いした34台の消防車両(上)
整然と並び次の号令を待つ団員の皆さん(左)



私たちも
応援して
います!!

消防団の活動は、多くの地域の皆さんに「頑張っている」「守られている」と思われ、支えられています。消防活動への良き理解者である地域の皆さんの声を紹介します。

活動を知ってもらうために見せることが大切

紫波総合高校3年A組 高橋柚香さん



す。いつも消防車で広報活動をしていますね。兄が出場した矢巾町での大会にも応援に行きました。出場者はみんな真剣で迫力がありました。消防演習では放水が見事で、ヘリコプターの訓練もテレビで世界と思っていたので間近で見ることができて、迫力があってすごかったです。

2年生の時に友達に誘われて参加しました。佐比内小学校の4年生から3年間、少年消防クラブの隊員として、消防演習に毎年参加して、太鼓をたたいていましたし、兄が消防団員だったので、消防団員は地元の人たちという印象がありました。

消防団は地域の人たちとのかかわりが強くなければならないと思います。消防団の活動を知ってもらうために見せることが大切ではないでしょうか。活動を見せることで、地域の人たちに「守られている」という安心感を与えられると思います。

消防演習では皆さんの真剣さが伝わってきました

紫波総合高校3年A組 川村唯さん



せんでしたし、役場職員のほかに婦人消防協力隊の人たちや幼稚園児まで、たくさんの人たちがかかわっていることが分かりました。

父が昔、消防団員だったころ、火事現場だけがをしたこともありますし、命にかかわる活動なので、家族として消防活動は怖いという印象でした。

観客としてではなく、スタッフとして参加するの見える方が違うと思います。消防演習のボランティアに参加してみました。ラッパ隊の演奏や一斉に放水する場面が、とても迫力があって印象的です。地元の消防団しか知らなかったもので、町にこんなにたくさんの消防車があるなんて思っていました。

消防演習では皆さんの真剣さが伝わってきましたし、休日にも広報活動などに出ているので忙しそうです。火災の時にくぐりかけつける消防団は、いつも地域のことを見守っているのだから「頑張ってください」と言いたいです。



自分もしっかりしなければと緊張しました

紫波総合高校

3年D組 佐々木郁恵さん



あづま幼稚園に通っていたころ、幼年消防の演技で消防演習に参加したことがあります。幼稚園のころは、演技をしてすぐに帰っていたので、いつか全部見てみたいと思っていましたし、高校でボランティアの募集があったときに、今でもやっているんだなあと懐かしく思い、参加してみました。

昨年は表彰の手伝いをしました。団員のきびきびした動きを見て、自分もしっかりしなければと緊張しました。消防演習を見ると、いつこんな練習をしているんだろうと思います。気付かないところで頑張ってもらって有り難いです。消防団については、火事になったときに火を消す人たちということ以外に詳しいことはよく分からないのですが、消防活動は無くしてはならないのだと思います。



消防演習で金山太鼓を演奏する佐比内小学校少年消防クラブ

普段も頑張っているなあとと思います

吉田貴久子さん(佐比内)



子どもが2年前から佐比内小学校の少年消防クラブに入り、消防演習で太鼓演奏を披露しています。お祭りで演奏する時とは違った緊張感があって、見ている方にも緊張が伝わってきます。本番で格好良く見せたいと練習に励んでいます。

キビキビしていかっこいい

佐比内小学校6年 福山飛翔くん つばさ



4年生の時に少年消防クラブに入って、消防演習で毎年、金山太鼓を演奏しています。今年は代表になったので始めと終わりの宣言をします。消防演習はお客さんがたくさんいるので緊張するけど、大好きな太鼓を聞いてもらえて

消防団は、有線放送で火事の知らせがあると、急いで消防車で出て行く人たちというイメージがありますが、普段は消防車でよく見回りをしていますし、各家を訪問して注意を促したりして、頑張っているなあとと思います。働きに出ている人が多くて日中はほとんど地元にはいないと思いますが、もし、日中に佐比内で火災があったときは、消す人がいるのか少し不安です。

消防とは直接関係ないですが、万一のために、心肺蘇生法などの訓練を近所の人たちと一緒にできればいいのかなと思います。



消防演習で見ることができる迫力ある一斉放水

うれしいです。

野球の試合があって河川球場に行くと、消防団の人たちが練習しているのをよく見かけます。野球では監督に「だからだするな」と注意されるけど、消防団の人たちはキビキビしてお手本にしたいです。火を消すのもかっこいいし、大人になったら消防団員をやってみたいです。



地域を元気にする 団体を支援しています

かたちにしたい思いを発表

夏を思わせる暑さとなった5月22日、紫波中央駅待合室を会場に「地域づくり活動補助金」公開審査会が行われました。補助金を獲得するため、この審査会に挑んだ9団体の皆さんを、企画提案とともに紹介します。

9団体に総額100万円の 交付を決定！

町は、住みよい暮らしや郷土を守る公益活動に対して補助金を交付しています。昨年初めて公開審査会により対象団体が選考されました。今回が2回目です。事業の目的や補助金の使い道が公益にかなっているか、将来性はあるか、熱意が感じられるかなどが審査のポイントです。

公開審査は各団体のプレゼンテーションにより行われました。

●審査員

(敬称略)

菊地 圭二 (市民活動支援センター ゆいっとサロン)

佐藤由美子 (NPO法人 紫波みらい研究所)

佐々木栄子 (佐比内地区創造会議 参加者)

吉田 行男 (一般公募)

高橋 剛 (一般公募)

佐藤 勇悦 (経営支援部長)

佐藤美津彦 (企画課長)

補助金は2種類

	①スタートアップ補助金	②ステップアップ補助金
対象団体	主に町内で公益活動する団体、NPO法人で、活動開始から概ね3年以内のもの	主に町内で公益活動する団体 (NPO法人、ボランティア団体、自治会など)
対象事業	<ul style="list-style-type: none"> ・団体組織の立ち上げ、強化に要する費用 ・新規事業 ・研修会等に要する費用 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続的に行われている公益活動の拡大、強化に要する費用 ・新規事業 ・研修会等に要する費用 ・イベント開催経費
補助の額	対象経費の全額 (上限10万円)	対象経費の2/3以内 (上限30万円)

1

長岡ゆめプラン
推進委員会
会長 七木田明さん
(発表者は七木田一善さん)



館山整備と長岡探訪 ツアーの実践

■目的 長岡にある産業や歴史文化を地域の資源として活用し、町内外から人を呼び込み交流する。

■具体策 ①「館山」の整備
②長岡探訪ツアーの実施(古民家や果樹畑を巡るコースを設定し、訪問客を誘致する)。

■今後の展開 ゆめプランにかかわる新たな実践チームを増やし、若者を交えながら、元氣な長岡を目指し取り組みを展開したい。

■審査員コメント

- ・地区創造会議の理念にむけて、現時点までの進め方は満点の取り組みです。
- ・地域自治力と若者が積極的に参加できる事業の創出に期待します。
- ・情報発信に力を入れてください。長岡マップの完成に期待します。



紫波中央駅が審査会場になりました

2

赤石地区子育て支援
ボランティア
なかよしひろば
会長 佐藤周子さん



「出前なかよしひろば」と 「ちょこっとあずかり」

■目的 地域の人が気負わず子育て支援にかかわるきっかけをつくる。

■具体策 ①「ちょこっとあずかり」をフリー広場でも実施。②自治公民館単位に子育て支援広場「出前なかよしひろば」を開催。③スタッフや地域の人たちを交えた講演会の開催。

■実施後の展開 地域の人が得意なことを披露したり、親たちが体験したり、気軽に交流できる場になる。地域住民の交流や相互扶助

の温かさを伝えていくことで、地域で子育てが当たり前になる。

■審査員コメント

- ・地域のひととの連携がうまくいっており、無理のない、喜びがある活動だと思う。
- ・子育てキャリアの人のパワーと経験に大いに期待しています。
- ・気づきをうまく次につなげていることが長所。ほかの団体にもノウハウを伝えてほしい。



審査委員長の菊地さん

3

学社ゆうごう支援グループ
えんのした
代表 佐藤富美子さん



「子どもたちと育つ まち」えんのしたまつり シーズン2

■目的 ゆうごう事業や子ども教室の講師を地域に知ってもらうことと、子どもたちさまざまな体験をさせて地域との交流を図る。

■具体策 ①「子どもたちと育つ町」をテーマとした講演会とワークショップの開催。②「えんのしたまつり」の開催(昨年度に続き2回目)

■実施後の展開 子どもにかかわる人たちがゆるやかにつながり、地域、家庭、学校が子どもたちの育ちを一緒に考えることで、町に

何が必要かを考えたい。子どもにかかわる人たちが悩みを語り合ったり、共有したりできる場を考えていきたい。

■審査員コメント

- ・ひたむきに活動を継続させてがんばっている様子が感じられました。
- ・出会いやつながりのきっかけとなる場としての機能を発揮させてください。
- ・一つの事業を終了した後のフォローアップをしっかりと行ってください。



スクリーンに写真を映して説明

6

義経神社を守る会
代表 池田 毅さん



「地域ぐるみで 生かそう 赤沢の平泉関連遺跡」 ・義経神社環境整備事業

- 目的 ①義経神社を守り、引き継いでいく。
- ②観光客の増加による地域の活性化
- 具体策
①神社周辺の環境整備活動（6・8月） ②パンフレット作成 ③町内平泉関連地域の研修会開催 ④さや堂完成祝賀会の開催 ⑤義経神社祭の復活 ⑥赤沢神楽の保存
- 実施後の展開 義経神社を観光資源として生かすことで、地域の活性化が図られる。



与えられた発表時間は7分でした

5

船久保館愛護会
会長 熊下文雄さん



船久保館を 「知ろう」「守ろう」 「活用しよう」 ・船久保館整備事業

- 目的 船久保館を検証し、郷土の歴史に理解を深める。
- 具体策
①船久保館の整備作業・歴史学習会
②船久保館跡現地踏査
③船久保氏発祥地訪問（宮城県栗原市）
- 実施後の展開 地区民の郷土愛による保全活動を継続し、子どもたちが歴史と自然にふれあえる公園を整備することで、郷土愛を深

- めていく。
- 審査員コメント
・発表者の熱意がよく伝わりました。地域住民の意識変革のきっかけになることを期待します。
- ・災害復旧ではなく整備後の活用がこの事業の趣旨なので、地域の人とワークショップをするなど、アイデアを出し合って進めてください。



手づくりのペーパーサートで工夫をこらした発表

4

紫波町観光
ボランティアガイド
しゃ・ペーる
代表 久慈和子さん



紫波町魅力まるごと発信 育て観光大使

- 目的 町に残る昔話や伝説を子どもたちに伝え残す。
- 具体策
①昔話や伝説の紙芝居を製作する。
②陣ヶ岡にゆかりのある秋田県「にえの柵」関連史跡の研修。③新メンバーの育成
- 実施後の展開 ①憩いの家、子ども会、公民館活動、町のイベントなどでの活用。
②知識を深めることで、皆さんにより深く伝えられる。

- ③多くのツアー客が来ても対応できるように体制を整え、町の観光地を外に発信する。
- 審査員コメント
・今後の活動の可能性が大きい取り組みなので、広く可能性を探ってください。
- ・研修後の成果の生かし方が明確でない。一般町民にも成果を見せる機会を作ってみては。
- ・自らの活動を通じて後継者を育成することができる。



プレゼンテーションに聞き入る審査員の皆さん

9

子ども達を見守る
まちづくりプロジェクト
準備委員会
委員長 菊池 眞さん



『子ども達を見守るまちづくり』プロジェクト

■目的 ①保護者が中心となってきた子どもたち対象の活動を、地域が支援する。
②子どもたちが主体となった活動をサポートする。

■具体策 ①地域と子どもたちをつなぐ提案書の作成と配布。
②小学生「リーダー研修会」の実施。

■実施後の展開
人材発掘、地域への周知効果や実績を作ることで多方面から認知してもらい、活動への理

解と支援が期待できる。

■審査員コメント
・子どもの意見を十分に吸い上げ、押し付けではなく自主的取り組みができるようにしてください。
・古館地区以外にも、このような活動が生まれ、学区を越えた幅広い交流につながるとさらにすばらしい。
・事業実施の講師謝金は基本的に子ども会などの申請団体が負担できると思われる。

一緒に活動してみたい人や興味のある人はご連絡をください。

市民活動支援センター
ゆいっとサロン
☎672-6912
(平日午後2時～6時)

審査結果

8

赤石地区
ひづめ館懇話会
会長 高橋敬明さん



樋(比)爪館に関わる資料収集及び関係遺跡整備等による地域活性化

■目的 樋爪氏を知らない人が多いため、地域住民や来訪者に、樋爪館遺跡の歴史に対する認識を広め、身近に感じられるようにしたい。

■具体策①「樋爪館関係収集資料集」を刊行し、公民館などで閲覧できるようにする。
②「遺跡めぐりコース」を設定し、コース内に「簡易遺跡説明板」を設置する。③講演会と遺跡めぐりを開催する。

■実施後の展開 観光客誘致を進め、地域振

興に役立てる。(パンフレットの作成/案内標識・遺跡標柱・説明板の設置/遺跡案内人を養成/五郎沼でのイベント開催)

■審査員コメント
・実績があり、より一層の活動充実を期待します。
・全町を対象にし、集客力向上を図ると共に、インターネットを活用して情報発信してみてもどうか。

7

紫波町保育ママの会
きらりん
代表 細川奈津子さん



保育ママによる親子で安心できる子育てプロジェクト

■目的 ①子どもと母親のコミュニケーションを図りながら、親がリフレッシュできて、子育てを楽しむ活動の実現。②各地域に「保育ママ」がいるような子育ての拠点作りを目指す。

■具体策 ①子育て講座の開催(10回)
②会員向けスキルアップ講座の開催(5回)
③保育ママ連絡会議の開催

■実施後の展開 各地域で「保育ママ」を始められることができ、子育てする親子が安心・

安全にすごせる場が地域に増える。不登校の親子のケアにも取り組みを広げたい。

■審査員コメント
・仲間を増やす思いを強く出してほしい。多彩なプロジェクトであり、おおいに期待しています。
・保険をかけるなど事故への危機管理を整えてください。
・子育てのノウハウなどをパンフレットにしてPRするような工夫がほしい。

1. 長岡ゆめプラン推進委員会	ステップ	20万円
2. 赤石地区子育て支援ボランティアなかよしひろば	ステップ	5万円
3. 学社ゆうこう支援グループえんのした	ステップ	5万5千円
4. 紫波町観光ボランティアガイドしゃ・ベール	ステップ	14万円
5. 船久保館愛護会	スタート	9万6千円
6. 義経神社を守る会	スタート	9万円
7. 紫波町保育ママの会 きらりん	スタート	10万円
8. 赤石地区ひづめ館懇話会	ステップ	18万円
9. 子ども達を見守るまちづくりプロジェクト準備委員会	スタート	8万9千円

CO₂を削減して 「エコbeeクーポン」 をもらおう！



ハニー☆しわっち
(ラ・フランス)

5月号から連載で「循環型エコプロジェクト推進事業」の紹介がはじまりました。今月号では、2つの事業についてお知らせします。

エコプロジェクト3 資源リサイクル運動に“エコbee”

■交付対象者

びん類、空き缶、古紙などの資源を年間2回以上回収する団体
※団体登録の届け出が必要です。

2009年度まで実施された「資源リサイクル運動奨励事業」により登録された団体は、あらためて登録する必要はありません。

■エコポイントの内容

資源回収量1kgごとに5ポイント分のエコbeeクーポン券を交付します。ポイントは、1ポイント1円として町から支払われます。

CO₂はどれほど削減できるの？

回収されたびん類、空き缶、古紙などは、登録団体が依頼した回収業者が引き取りリサイクルされます。新製品を製造することと比較した場合、1kgの回収により約2kgのCO₂の排出量が削減できます。

Q. 09年度までびん類は本数の申請でした。本年度から重量になりましたが、計算の方法は？

A. 申請書に種類ごとの係数が表示されてます。本数に係数を乗じて重量を計算して頂きます。

係数は、一升瓶・ビール(特大)0.94、ビール(大・中)0.6、その他びん0.2です。

Q. エコbeeクーポン券の換金方法は？

A. 09年度までは、補助金交付請求書に添付書類として「補助金交付決定通知書の写し」が必要でした。本年度からは、添付書類が「補助金交付決定通知書の写し」から「交付されたエコbeeクーポン券」に変更になります。申請から請求までの手続き方法は、これまでと同じです。

Q&A



火葬場東側で行われた奉仕作業



(株)故郷の山の提供により
植栽されたかたくりの花

「故郷の山」が 企業の森を手入れ かたくりを植栽

紫波企業の森づくり活動として08年度に協定を締結した(株)故郷の山の奉仕作業が火葬場東側で行われました。同社は火葬場の維持管理を委託された10年間に、町有林1・4畝の除伐、間伐などをする予定です。また、作業終了後には「紫波斎苑かたくりの丘」にちなんでかたくりの花50本が植えられました。

エコプロジェクト4 間伐材の搬出に“エコbee”

■交付対象者

間伐材が発生した森林(町内に限ります)から集積所まで搬出を行った人が対象となります。

なお、森林所有者以外の方が搬出を行う場合には、森林所有者の同意が必要です。

■エコポイントの内容

間伐材1m³ごとに1,500ポイント分のエコbeeクーポン券を交付します。

■集積所について

集積所は、次の事業所です。集積所では、1m³につき約500円を搬入された人にお支払いします。

事業者名	住 所	電話番号
岩手中央森林組合紫波チップ工場	片寄字野畑1486番地1	673-7851
岩手中央森林組合南部支所	東長岡字天王52番地2	672-2538
巻藤製材所	南日詰字大銀91番地	672-3364
八重畑製材所(株)	北日詰字八反田27番地	676-3021

※集積所に搬入する間伐材の基準は、長さが110cm以上で、かつ直径が12cm以上のものが対象です。搬入する際は、事前に集積所に連絡をお願いします。集積所を希望される団体は、登録が必要です。

CO₂はどれほど削減できるの?

間伐材をまきとして利用した場合、化石燃料(灯油)の利用と比較すると、1m³当たり約400kgのCO₂の排出量が削減できます。

※まきとして使用した場合、CO₂が排出されますが、間伐材を林地に放置した場合も腐敗する際にCO₂が排出されます。このことから、間伐材は、新たにCO₂を排出する化石燃料(灯油など)と比較して環境に優しい燃料です。また、間伐された森林は、間伐前と比較してより多くのCO₂の吸収が図られます。

講習会

間伐材の搬出講習会を開催します 6月27日(日) 午後1時30分～

NPO法人紫波みらい研究所では、間伐材を安全かつ効率的に運び出すための講習会を開催します。

■場所 紫波フルーツパーク内

■講師 高橋米勝さん(紫波みらい研究所会員)

■必要なもの 滑り止め付の軍手、(所用している人は軽トラック、トビ)

■申込・問合せ NPO法人紫波みらい研究所 ☎671-2244 環境課 循環政策室 ☎672-6892

軽トラックを提供して、集積所まで運び出して頂ける人には、運び出した量に応じてエコbeeクーポン券を交付します。



紫波町金融団の清掃活動の様子

ボランティアで河川や公園、道路などの清掃活動を行う「紫波まちピカ応援隊」の制度には、現在6団体が登録されています。4月から町内各地で活動が開始され、5月20日には、昨年度登録した紫波町金融団(町内に支店を置く4行で組織された団体)が日詰ふれあい広場(東北銀行斜め向かい)で活動しました。

紫波まちピカ 応援隊が清掃活動

今年もまちを
ピカピカにします!

健康

「認知症」あなたは 知っていますか？



北條保健師

健やか
ランドしわ

しわ健康情報
コーナー

5月総合版では「認知症」と「物忘れ」の違いについてお知らせしました。今月は認知症になるとどんな行動をとるのか（認知症の理解）についてお知らせします。

認知症の症状は「中核症状（基本症状）」と「周辺症状（副次的な症状）」に大別することができます。

■**中核症状** 程度や時期の違いはあっても、認知症の人には誰にでも見られるものです。

■**周辺症状** 人によって現れ方がさまざまで、誰にでも見られるとは限りません。

中核症状	周辺症状
「先ほど」の記憶を忘れてしまう (数分前、数秒前の記憶が障害される)	感情的になる (感情を高ぶらせ、過剰に激しく怒る)
「見当」がつかなくなる (いま何時か、何曜日かが分からなくなる)	認知症であることが分からない(「忘れた」という自覚がなく、認知症であることを認めない、分からない)
思考力や判断力、計算力が低下する (機械の使い方が分からなくなるなど)	食べられないものを口にする
	おかしい服装をする
	徘徊する・幻覚を見る・不潔行為
	事実ではないことを事実のように話す

周辺症状を理解するには、自分に認知症の症状があるとしたら、と考えると分かりやすくなります。先ほど言われたことを忘れてしまう。今どこにいるのか、周りには誰の（徘徊）か、周りにいる人が誰なのかも分からない。こうした時にある人は状況を確かめたくて歩くかもしれません。また、周りの人から「さっきも言ったでしょ」と言われると、「初めて聞いたのに何で怒られるの?」と怒り出すかもしれません。このように周囲の対応や環境を、本人がどのように感じているかということに目を向けることで周辺症状が緩和されることがあります。次号では町の施策をお知らせします。

◆**相談・問合せ** 紫波町地域包括支援センター ☎671-1101 岩手県認知症疾患医療センター（岩手医科大学附属病院） ☎652-7411（相談受付 月～木曜日 午前10時～午後4時）

お知らせ

国保以外の保険加入者 「特定健康診査」に1,000円助成

町は、国民健康保険以外の右表に該当する人に、申請により自己負担額の一部を助成します。

◆助成額

1,000円（領収書の額が1,000円未満の場合はその金額）

◆申請期間

2010年7月1日～2011年3月31日

◆申請・問合せ

長寿健康課 健康推進室 ☎672-4522 有線01-8991

該当者	申請時に必要な書類など	
	該当別必要書類	共通必要書類
非課税世帯の人（ご家族全員が町県民税を課税されていない）	世帯全員分の課税証明書（1枚300円）	・特定健診領収書 ・医療保険証
身体障害者手帳1～3級の人	身体障害者手帳	・印鑑
療育手帳をお持ちの人	療育手帳	・振込先口座番号 （郵便局以外で ご本人名義の 口座番号）
精神障害者保健福祉手帳をお持ちの人	精神障害者保健福祉手帳	

体よろこぶレシピ



紫波町食生活改善推進員協議会
古館地区会員
前川喜久子さんのレシピです

春キャベツと生ワカメのサラダ

**今月の
素材
POINT** 春キャベツは冬キャベツと比べて、みずみずしく葉質がやわらかいので、生で食べるのに向いています。また、キャベツには胃炎や潰瘍の回復に効果があるといわれるビタミンU（キャベジン）が含まれています。



材料（4人分）

春キャベツ…300g、生ワカメ…100g、しらす干し…30g
★ドレッシング★しょう油…大さじ3、みりん…小さじ1、砂糖…小さじ1、酢…大さじ2、ゴマ油…小さじ1、行者にんにくの小口切り…大さじ2～3

作り方

- ①春キャベツは一口大にザク切りにし、さっとゆでて軽く絞る。
- ②生ワカメは、さっとゆでてから水にさらし、一口大に切り水気を切る。
- ③①と②を混ぜ合わせ、器に盛り、しらす干しを上に散らす。
- ④ドレッシングの材料をよく混ぜ合わせ、食べる直前にかけていただく。

行者にんにくのドレッシングは、サラダのほかに豆腐などにかけてもおいしいです。

お知らせ

町特定不妊治療費補助金の交付について

子どもに恵まれず不妊治療を受けている夫婦を支援するため、体外受精や顕微授精の治療費の一部を補助します。

◆**補助金額** 申請により、1年度1回を限度に5万円を補助（通算5年間まで）

◆**条件** ①特定不妊治療を開始した以前から町に住民登録をしていること。②県特定不妊治療費助成事業の対象者であること。

日本脳炎予防接種について

日本脳炎予防接種が「新ワクチン」で受けられるようになりました。

国は、2010年度における3歳児に対しての接種を積極的に勧めています。町でも3歳の子どもへ個人通知をしています。

◆**対象** 生後6カ月以上7歳6カ月未満の子ども（第1期）ただし、積極的な接種勧奨の対象者は3歳です。※第2期対象者（9～12歳）と差し控えにより接種をしていない子どもについては、現在、国でその対応について検討中のためしばらくお待ちください。

◆**問合せ** 長寿健康課 健康推進室
☎672-4522 有線01-8991

助産師さん

おやこ 母&娘ハッピーサロン

ハッピーに思春期を迎える準備をお手伝いします。

- ◆**日時** 7月3日（土）午後1時30分～3時30分
- ◆**会場** アイーナ7階 アイーナキャンパス
- ◆**参加費** 1組500円
- ◆**対象** 小学4～6年生の女兒とその親（限定15組）
- ◆**申込・問合せ** 6月28日（月）まで 県立大学
☎694-2280 FAX694-2281

動物とのふれあいの場 フルーツパークに3匹の子ヤギ



無邪気に近寄ってくる子ヤギたち

リンゴの花も見ごろの5月7日、紫波フルーツパークの農園に生後半年のメスの子ヤギ3匹が迎え入れられました。赤沢小学校の児童が付けた名前は「もも」「キキ」「ベリー」。とても人なつこく、子どもでも安心して触れることができます。竹原純悦取締役は「ヤギと自由にふれあうことができますので、お子さん連れでお弁当を持って、ピクニックにでもいらしてください」と話していました。



熱心に指導する飯田氏と真剣な表情で聞き入る紫波一中生たち

全国レベルの野球目指して 中学生・高校生の野球教室

元早稲田大学監督飯田修氏による野球教室が5月22、23の両日、紫波運動公園で開かれました。町内中学校と高校の野球技術向上を目的に町野球協会（深澤剛会長）が実施。飯田氏は「最初から上手な人はいない」と練習の重要性を訴え、試合を想定した動きを求めています。紫波一中3年生吉野和人さんは「アドバイスをされたことをしっかりやればもっと上を目指せると思います」と話していました。

再製プランターを 各学校に贈呈 星山小学校で交付式



環境講話の後にプランターが手渡されました

循環型のまちづくりに取り組む町は、使用済みペットボトルキャップから再製されたプランターを、町内各学校に20個ずつ配布しています。5月13日には、星山小学校（多田敦子校長、全校児童53人）で交付式が行われ、藤原町長は「町で回収されるペットボトルは年間260万本、一人当たり75本です。特にキャップは良質な資源ですので、焼かずに再利用しましょう」と全校児童に呼びかけました。

泥んこでも楽しい 片寄小学校で田植え体験

片寄小学校（千田千枝子校長）では、5月14日に全校児童88人による田植え体験学習が行われました。5月にしては肌寒く、児童たちは素足で田んぼに入ると、水の冷たさに大声を上げていました。5年生細川美咲さんは「家でも田植えをしますが、ぬるぬるした足の感触は年に一度だけです」と話していました。同校では、秋に収穫体験をした後、感謝祭で地域の人たちなどに振る舞う予定です。



泥の感触に大はしゃぎ

いっぱい泣いて 元気に育ってね☆

古館保育所内の子育て支援センター（中村祐子センター長）で5月18日、泣き相撲大会が開かれました。手作りの行司衣装に身を包んだ先生方の「ヨー、ヨー」という元気なかけ声で、抱きかかえられた子ども同士が顔を見合わせると、大声で泣く子、笑顔で喜ぶ子など反応はさまざま。日誌から参加した星合優菜ちゃんのお母さんは「いっぱい泣いて強くなってるしっすよ」と話していました。



泣き相撲は先に泣いた方が勝ち

手紙を見せ合い会話も弾んでいました



絵手紙で交流 優しい色彩に思わず笑顔

古館公民館で月一回行われている絵手紙教室（会員10人）の代表3人が、5月14日に宅老施設えんどり古館（中川ヒデ子所長）を訪れ、自分たちで描いた草花などの絵手紙を利用者に贈りました。はがきに描かれた水彩画に、独特の字体で一言添えられており、受け取った浅沼功さんは「写真と違って温かみがありますよ」。去年の手紙も大切にしまっていますよと、とても気に入っている様子でした。

マナーを守って 犬と仲良く暮らそう



事前に接し方を練習して臨みました

見事な五月晴れの5月17日、古館保育所で「犬の訪問交流会」が開かれました。子どものうちから犬とのふれあい方を楽しく学んでほしいとキラ☆キラの会（伊藤禎枝子会長）が3年前から毎年訪れています。ふれあい活動の後には、環境活動として犬と一緒に道路のごみ拾いが行われ、活動を終えた千田皐晴くんは「犬のふんやたばこの吸い殻が落ちていて、汚いと思いました」と話していました。

一人で悩まないで 家族の介護を語り合う会



山田氏がコーディネーターを務めました

町の地域包括支援センターは5月13日、県立大学臨床心理士の山田幸恵氏を招いて「介護者の集い」を初めて開催しました。自宅で配偶者や親などを介護する16人が、自分の現状について語り合いました。同じように日々介護に追われる参加者たちは「共感できた」「来て良かった」「自分を振り返る時間ができた」などと感想を話していました。今後も奇数月の第二木曜日に開催される予定です。

事業主の皆様へ ～育児・介護休業等規定の改定～

改正育児・介護休業法（平成22年6月30日施行）に沿った就業規則の見直しが必要となります。主な改正点は次のとおりです。

- ①「子が3歳までの1日6時間の育児短時間勤務制度」および「子が3歳までの所定外労働の免除」の導入。
 - ②「育児休業制度」に、父母ともに育児休業を取得する場合、1歳2カ月まで休業ができる内容を追加。
 - ③「子の看護休暇制度」に、子の看護のほか、予防接種などのため、子2人以上は年10日の内容を追加。
 - ④家族の介護などのため、家族1人または年5日、2人以上は年10日の「介護休暇制度」の導入。
- ※100人以下企業は平成24年6月30日まで①・④の適用が猶予されます。

■問合せ 岩手労働局雇用均等室
☎604-3010

厚生労働省ホームページ
<http://www.mhlw.go.jp/topics/2009/07/tp0701-1.html>

医療費助成の申請が変わりました

これまで、一部の総合病院において、外来で複数科を受診した場合、診療科ごとに「医療費助成給付申請書」を提出していましたが、4月からは、全ての総合病院で複数の診療科を受診しても申請書は1枚で済むことになりました。

医療機関が違う場合は、これまでどおり医療機関ごとに外来・入院別に1カ月単位で助成額を計算します。同一医療機関であっても歯科と歯科以外の診療科は合算しません。

■対象 小学1年生までの児童を持つ家庭、母子家庭、寡婦家庭、障害者手帳1～3級までの人など

■変更となった病院 県立中央病院、盛岡市立病院、盛岡赤十字病院、盛岡南病院など

■問合せ 町民課 国保年金室
☎672-2111 内線1431

森林の伐採、開発には 手続きが必要ですよ

森林の伐採や開発を予定している人は、事前にご相談ください。

○保安林以外の森林での立木伐採
農林課 農業振興室
☎672-2111 内線3332

○保安林での立木伐採、土地の形質変更
盛岡地方振興局 林務部
☎629-6615

○保安林以外の森林での1畝を超える開発行為
盛岡地方振興局 林務部
☎629-6616

旧日本赤十字社救護看護婦・ 旧陸海軍従軍看護婦の皆さんへ

戦地などに派遣され、戦時衛生勤務に服された日本赤十字社救護看護婦及び旧陸海軍従軍看護婦のうち、慰労給付金の支給対象者とならない人に内閣総理大臣名の書状を贈呈します。

■問合せ
福祉課
福祉推進室
☎672-2111
内線1521

相談

労働者・事業主のみならず 無料労働相談会が開催されます!

県労働委員会委員が問題解決に向けてアドバイスします。プライバシーなどの秘密は守られます。

■日時 6月20日(日) 午後1時～4時

■場所 県公会堂(県庁東側)

■相談対象者 労働者、事業主

■主な相談内容 解雇、配転命令、給与カット、サービス残業、賃金未払い、嫌がらせ、パワハラ、セクハラ、退職する社員からの金銭要求、労働条件の話合いが進まないなど

■申込・問合せ 予約受付時間
午前9時～午後5時(土・日・祝日は予約できません) 当日の直接相談可(事前予約者を優先) 県労働委員会事務局(岩手県庁11階)
☎629-6276

労使トラブルで悩んでいませんか?

無料労働相談会が開催されます。ご予約の上お出かけください。

■日時 6月20日(日) 午後1時～午後4時

■会場 県公会堂

■申込・問合せ 県労働委員会事務局(県庁11階) ☎629-6276

モリコレ体験入学開催
一参加申込受付中—
6/19(土)、7/10(土)
10:00～12:00(9:30～受付開始)

〈体験入学の内容〉
◆学校全体説明(教育方針、修学支援制度、就職支援制度、就職・資格取得状況、入試制度など)◆希望の学科での体験授業◆在学生とのティータイム(どんなことでも気になることを聞いてみよう!)◆個別相談、寮見学(希望者のみ)

新設 カフェ・スイーツコース
実習授業体験
参加者募集中!

6/19(土)(事前予約制)
13:00～15:00(12:30～)受付
テーマ:ミニデコレーションケーキ
【内容】カフェ・スイーツコースの教育方針、特色、講師、特待生・入試、学費、就職支援などの説明
【持ち物】三角巾とエプロンをご用意ください

Happy Marriage Project
ハッピーマリッジプロジェクト7/4(日)
モリコレ9:30集合
(11:00～15:00) **参加無料**

…「ホテルプライダル科」2年生が企画運営をする本格的な、模擬結婚式披露宴。日々の学習の集大成!!
(会場)ホテル安比グランド(安比高原)★お気軽にお申込みください※当日はモリコレ前より無料送迎バスが出ます。

高校生参加者募集中!! ★保護者の方もぜひ参加ください。

自由が丘産能短期大学単位認定校 岩手県認可 ■ お問い合わせ・お申込先
専門 盛岡カレッジ オフ ビジネス 019-651-5001
学校 019-651-5001
〒020-0025 盛岡市大沢川原3-1-18 TEL 019-651-5001 FAX 019-651-5015 <http://www.moricolle.ac.jp>

相心館 **Kami Hikōki**

2010年
ニュー
ヘアライン
発表

ブチボブ6,500円

○クリーブウェーブ(カットフロア別).....4,620円
○カーリングウェーブ(カットフロア別).....3,990円
○Milkカラー(カットフロア別).....3,675円
○天然ヘナ&インディゴ(カットフロア別).....4,200円
○ベースカット(S・C・B) 4,935円
○ヘッドスパ.....3,675円

モーニングサービス「火曜～金曜」
AM9:00～12:00 **10%OFF**

メール会員は、携帯ホームページにてサービスクーポンをご覧ください!

〒028-3303 紫波部紫波町高水寺宇古屋敷 6-31 TEL 019-676-5825
E-mail kamihikoki@posh.jp
OPEN 9:00～CLOSE 20:00
定休日/毎月曜日・第三日曜日

Salon & Passe **ふんわりウェーブでスタイリングもラク!!**
ソフトデジタルパーマ
新規のお客様限定...

ショート 12,000円 → 8,400円
ロング 15,000円 → 10,500円

6月末日までの限定
キャンペーン **縮毛矯正**
ショート 10,500円 → 8,500円
セミロング 12,500円 → 10,500円

Salon & Passe サロンドゥ・パッセ

【営業時間】8:00～18:00(受付17:00まで)【定休日】月曜日【駐車場】10台
日詰西6丁目1-8 ☎(672)2700 予約優先

研修を受ける 新規農業者を支援します

町は「新規就農者受入経営体」に登録された農家などで研修を受ける「新規就農者」を支援します。
■支援内容 12カ月まで月4万円(13カ月以降月3万円) など
■問合せ 農林課 ☎672-2111 内線3323 有線01-8931

暮らしの情報

募集

「夏まつり」一緒に運営しませんか!

8月15日(日)に開催予定の「第39回紫波夏まつり」のボランティアスタッフを募集します。まつりの企画から準備、運営までを一緒にやってみませんか。

■**応募資格** 16歳以上(高校生やグループでも可)

■**申込・問合せ** 6月23日(水)まで
紫波夏まつり実行委員会事務局
(商工観光課) ☎672-2111
内線3632

企画・運営しませんか 「子育て創生ワークショップ」

紫波中央駅前に整備を予定している「子育て応援センター(仮称)」において、子育て支援活動の企画や運営をする企業、団体などを募集します。

■**内容** 「子育て応援センター(仮称)」のデザイン、子育て支援のあり方を考えるワークショップの運営など

■**応募方法** 6月17日(木)までに、規定の様式に必要な事項を記入の上ご応募ください。

■**応募先・問合せ** 福祉課子ども室
☎672-2111 内線1531
有線01-8974

伝統文化こども着付け教室

文化庁の委託事業「伝統文化子ども教室」として、開催されます。

■**対象** 小学校1~6年生(定員20人)

■**日時** 初回6月26日(土) 午前10時~正午(月2回程度、土曜日、全12回)

■**会場** 古館公民館

■**内容** 着物の歴史・種類について

のお話、浴衣の着方・ちょう結び・作法など

■**受講料** 無料

■**持ち物** 浴衣、半巾帯または小袋帯(お持ちでない人は要相談)

■**申込・問合せ・講師** 小林豊子
もの学院紫波教室 戸塚美穂

☎・FAX 672-2477

農地をお貸します 野菜づくりを始めませんか

町ふれあい市民農園の利用者を募集しています。

■**農園の場所** 土館字尻掛地内

■**募集区画数** 12区画(1区画50㎡)

■**募集期限** 6月30日(水)まで

■**申込・問合せ** 農業委員会

☎672-6875 有線01-8832

FAX 672-2311

✉ noui@town.shiwa.iwate.jp

「ごみ分別方法」を説明します

8月から、紙製・プラスチック製容器包装の分別収集が、町内全域で実施されます。

新たに実施される地区での説明会は終了していますが、町内会、婦人会など希望する団体があれば、その都度説明に伺います。

■**対象** 10人以上の団体や組織など

■**説明員** 環境課職員、環境衛生組合連合会員、環境マイスター

■**問合せ** 環境課 生活環境室

☎672-2111 内線3523

小学校の教科書に ご意見をお寄せください

盛岡市、矢巾町、紫波町で組織する盛岡南地区教科用図書採択協議会は、2011~2014年度に小学校で使用する教科用図書を採択するにあたり、皆さんのお考えを参

考にするためご意見を募集します。候補図書は展示場所で自由に閲覧することができますので、採択にご意見のある人は、展示場所に設置する意見箱に投書をしてください。

■**募集期間** 6月18日~7月4日(月曜日を除く午前10時~午後5時)

■**展示場所** 盛岡教科書センター(盛岡市立図書館内 盛岡市永井24-90-2)

■**問合せ** 学務課 学務室

☎672-3362

町有地の活用事業者を募集

町は、県除雪車庫跡地(町有地)を活用をする事業提案を募集します。(詳しくは町ホームページ参照)

■**対象物件** 日詰西一丁目2番3(宅地761.91㎡/事務所兼車庫281.83㎡)

■**条件** 事業用借地権を設定(期間は提案による)

■**申請書類配布期間** 6月9日(水)~23日(水) 午前9時~午後5時(閉庁日を除く)

■**申込・問合せ** 6月30日(水)まで 総務課 職員管財室

☎672-6867 有線01-2825

お知らせ

病後児保育室ぐんぐん

病気は回復したけれど、まだ集団生活が難しい児童をお預かりします。

■**対象** 1歳~小学生/紫波郡・盛岡市の病院から連絡票を受けた児童

■**利用時間** 月~金曜日 午前8時~午後6時

■**利用料** 1時間700円

■**場所** 銭形平次会館(東北銀行北隣り)

■**問合せ** NPO法人紫波さがり

☎676-2765

(細川) ☎090-7939-6113

中央葬祭センター シンセラホール紫波

仏壇展

7/3(土)・4(日)
午前9時~午後6時

会場 JAいわて中央本所「パーフルパレス」

中央葬祭センター「シンセラホール紫波」
岩手県紫波郡紫波町桜町字上野沢278
☎676-7676 FAX676-4404

紫波町に定住・住替をお考えの皆さんへ

宅地 分譲販売中

古館NT内 5区画
北日詰大日堂 7区画

中古住宅 **800万円**

延べ床面積 91.08㎡
27.55坪
土地面積 201.75㎡
61.02坪

- 所在地/紫波町中島字前郷
- 交通/JR古館駅徒歩5分
- 建物構造/木造2階建 ●引渡し/即
- 建築年月/昭和54年5月 ●取引形態/仲介

6m南面道路、日当良好、大型車庫・物置
H14年内・外リフォーム、H20屋根塗装済み

不動産の売買・仲介、自社開発宅地・建物分譲
(社)全日本不動産協会 東北地区不動産公正取引協議会 岩手県知事免許(1)2255号

ウエノ不動産管理(有)
☎671-2072 FAX671-2073
日詰字下丸森9-4(養老乃瀧 紫波町店となり)
最新情報はホームページへ ウエノ不動産管理 検索

広告有効期限/平成22年6月30日

「平井邸」一般公開
6月19日(土) 午前10時~午後4時

「紫波町うまいもの店」も同時開催。
10月まで月1回、平井邸が一般公開されます。
■**問合せ** (株)よんりん舎 ☎671-1755

こちら、野村胡堂・あらえびす記念館

「銭形平次を読み解く」 平次入門②（人間お静の魅力）

第3回

野村胡堂・あらえびす研究会 外崎 菊敏



胡堂の妻ハナ

お静は父親に死なれ母を抱えて、18歳の時に両国の水茶屋に出て看板娘となる。無邪気で美しい娘心を失わないはにかみ屋、水茶屋でお静と競った軽技の花形芸人小艶（『吹矢の紅』）や平次をあきらめたお町（『平次女難』）に、無抵抗でも優しいと慕われる。努力で身につけた表情やものの言い方、身のこなし方で、誰とでも良い人間関係を持てた、隣人に開かれた心がけの良い女性である。

お静は、美女を生贄に將軍家光を呪い殺そうとする犯人に、囮となつて誘拐され平次にその跡を追わせる（『金色の処女』）。また、平次の許嫁となつて与力笹野新三郎宅に行儀見習いに入り、平次の捜査活動を助ける（『復讐鬼の姿』）。花嫁が次々に誘拐される中、お静は平次と祝言にお色直しの隙に駕籠で連れ去られる

が、目印のしおりを落とし、平次に犯人の隠れ家突き止めさせる（『七人の花嫁』）。お静は優しさだけではなく、賢さと気丈さ、人間としての芯の強さを持った女性である。

お静は平次とは仲良く、ご用聞きが生きがいの平次をうらやましく思いながら、貧乏生活をやり繰りし支える。生活力のある女性であつて、自分の立場と力量をわきまえ、平次の脇役に徹する。平次がお静の内面の美しさにぞっこん惚れ、恋敵弥助を退けたのも理解できる（『永楽銭の謎』）。

お静は胡堂が好んで小説に書いた女性の典型、そのモデルはハナ夫人。ハナ夫人は優れた女性、胡堂に空気がのような存在の絶対必要な妻になりたい、と執筆に苦しむ胡堂の心をケアするなど内助の功に徹した。

注 水茶屋とは、寺社の境内などで湯茶を出して休息させる小屋掛けの店

こんな時、どうすればいいの？ —そんなお悩み解消できます！

まちづくりコーディネーター

養成講座

参加者大募集！

まちづくりにおける「5つの柱」を全日程の受講を通じてワークショップ型学習法で学んでいきます。

ファシリテーション技術
話し合いの場における意見を引き出す技術。円滑に話し合いを行う技術について学びます。

コミュニケーション技術
話しやすさや共感を生む関係づくりの技術について学びます。

プロセスデザイン
想いを実現する考え方のステップを学びます。

フィールドワーク術
「まちあるき」の手法について学びます。

事業デザイン
まちづくりや事業における設計図の作り方を学びます。

【日程(全3回・すべて土、日)】

- 第1回 7月3日、4日
- 第2回 7月31日、8月1日
- 第3回 8月28日、8月29日

【時間】9:30～16:30

【場所】JAいわて中央パーフルパレス研修室、アイーナ(盛岡駅西)ほか

【定員】30人

【料金】テキスト代 2,000円

【申込期限】6月25日(金)

●申込・問合せ 企画課 協働支援室 ☎672-2111 内線3242 FAX672-2311

ラ・フランス温泉館YOGA教室のご案内

ヨガと温泉で“リフレッシュ”

毎週木曜日

11:00～12:30

18:30～20:00

初心者の方も大歓迎

講師/NPO法人日本YOGA連盟YOGA講師陣

特典 入浴付、味処あづまねお食事割引券付き



場所/2Fトレーニングルーム

参加費/お一人様 1,500円

定員数/1教室10名様

参加方法/電話にて申込みください

※ヨガマットはご持参ください(お持ちでない場合は厚手のバスタオル)

PH値9.0のアルカリ性単純温泉でとろ～りつるつる美人の湯

☎019-673-8555

FAX 019-673-8556 E-mail yoyaku@lafrance.co.jp URL http://www.lafrance.co.jp/

あらえびす

東根山に沈む夕日を見ながら
紫波のワインと地酒を楽しむ会

バーベキュー

紫波の農産物、
焼き肉などの料理

バンド演奏

6月25日(金) 午後6時

場所/野村胡堂・あらえびす記念館 会費 4,000円

主催/野村胡堂・あらえびす記念館、紫波フルーツパーク、紫波まちづくり企画
後援/紫波町農林課、JAいわて中央

前売券販売所 野村胡堂・あらえびす記念館、紫波フルーツパーク、ラ・フランス温泉館、果里ん亭、紫波せ本舗

(株)紫波フルーツパーク(紫波町第三セクター) 紫波町遠山字松原1-11(道の駅紫波の裏手)
☎019-676-5301 URL http://www.shiwa-fruitspark.co.jp/

補助金制度の在り方

予想以上に低温が続ぎ、農作物の低温障害が心配されており、管理には万全を期していただきたいと思えます。

国においては、事業仕分けが行われており、継続してきた事業が一刀両断で中止、見直しと、仕分けされています。そのことの良し悪しはともかく、常に状況に応じて見直していくことが必要であると思っております。

2年目となる「地域づくり活動補助金」の公開審査会が、多

数の町民が参加して先般開催されました。市民参加条例の理念と地区創造会議の浸透に伴い、地域主導の活動が年々本格的になつていく情景に触れて深く感銘を受けました。発表した各団体の全員が、町や住んでいる地域に対して熱い思いを抱いており、魅力ある心豊かなふるさとにしたいという思いが込められた内容でした。力を込めて説明する様は、さらに豊かな事業にしようとする郷土を愛する心意

気が感じられるもので、発表された皆様に万感を込めて拍手をお送りします。

地域に活気を取り戻すのは、地域に住む皆さんであります。それを後ろから支えるのは行政の役割であり、両者がかみ合つて地域が繁栄するものと確信しております。

公開審査会は、地域づくりへの支援について、公開方式により町の皆さんと一緒に考え、地域に活力を生む人づくりも兼ね

た事業であります。今後は「地域づくり活動補助金」に限らず、公開審査方式の範囲を拡大するなど、補助金制度の在り方を検討する時期に来ていると思えます。

活力ある紫波町を目指すとき「町民・企業・行政」の三位一体でそれぞれ持ち前の利点を出し合い、共に発展を期してまいります。

藤原 孝

町のあらかるとニュース

PICK UP!



ティッシュを手渡して呼びかけました

ごみの減量・分別にご協力をお願いします!

5月30日を「ごみゼロの日」と位置づけ、町はごみ減量のPR活動を行いました。参加したのは、ごみ減量女性会議役員を中心に、町環境衛生組合連合会役員、町の新採用職員など38人。町内でエコショップの認定を受けている大型店（ナックス、マックスバリュ紫波店、ロッキー紫波店、ユニバース紫波店）の店頭に立ち、訪れた買い物客にごみ減量を呼びかけながらポケットティッシュを配布しました。



紫波中央駅での活動の様子

自転車・自動車・ご自宅にカギをかけよう!

6月1日から「自転車盗等無施錠被害防止30日作戦」が開始されました。これは、町内において自転車盗や侵入盗などの無施錠被害率が非常に高く、被害が駅周辺に集中していることから、被害を防止するために町防犯協会が主催したものです。同会会員などが、6月いっぱい町内のJR 3駅や大型スーパーでチラシ配布や二重ロックの呼びかけなどの啓発運動を行います。



- 1 鮑玉姫が田村麻呂を生んだ「廻田」の風景
- 2 「ヤカイ清水」をまつる石碑
- 3 物語を紙芝居で紹介する小笠原さん
- 4 今でも水がわき出る「ヤカイ清水」



シリーズ ボランティアガイド「しゃ・べー」と
いってみよう!

「しわむかしばなし」編

あかさわめぐりだ
観音様に守られた娘が命を宿した地
赤沢廻田

◎案内役/観光ボランティアガイド「しゃ・べー」 小笠原悦子さん

メグリダ、ヤゲアスズの名が残る赤沢地区の伝説を訪ねて

赤沢には、メグリダ、ヤゲアスズ、カヤノ、久門井長者の屋敷跡、將軍の乳神などの地名や屋号が残されています。今回はその赤沢の地にまつわる、歴史上の人物の誕生伝説を紹介します。

しわむかしばなし

『鮑玉姫』

〜坂上田村麻呂誕生伝説〜

昔、京の公家が、罪によって陸奥に流されました。ある日、父の赦免を祈るため、一人娘の鮑玉姫は母と共に熊野権現に詣る途中、ひとさらいにさらわれてしまいます。人手から人手に渡った鮑玉姫が和賀の観音堂で一夜を過ごす時、不思議なことに、肌が黒くなり髪も赤くちぢれたとても醜い姿になり、人買いにも捨てられてしまいました。途方に暮れて泣いていた娘を、観音堂に参拝にきた甚吉という男が同情し、家に連れ帰り育てていきましたが、凶作が続く、甚吉は娘を連れて斯波郡北田の里の久門井長者に奉公することになりました。

ある年、長者の屋敷に、シカ狩りに来た坂上田村麻呂という偉い武將が泊まりました。「北田の里にある千刈田の米はいい酒になるそうじゃな。ゆつくりごら

そうになろうぞ。ところで、酌をするいい娘がおろう。出せ」「はっ、こは片田舎、さような娘などおりませぬ」「うそを申せ。さつき小川でせりを洗っていたぞ」「あれは鮑玉と申しますがあの顔ではとても……」「いや、かまわぬ。出せ」仕方なく鮑玉を呼ぶと、びつくり！ 鬼の仮面のような顔が、美しい娘に変わっていたのです。娘を大層気に入った田村麻呂は、娘が山里に居る訳を知り、中納言の赦免や母親の行方を捜すことを約束しました。

田村麻呂の子を宿した娘は、やがてカヤノの小屋で男の子を産みます。産湯はヤカイ清水（ヤゲアスズ）の水を使い、お産時のよごれものはメグリダですぎました。生まれた男の子は、後の征夷大將軍坂上田村麻呂その人であったのです。

苦しい旅をする娘がめぐり会った運命、それが「廻田」かもしれないし、この辺りではわき水をスズと言うことから「ヤカイ清水」は「ヤゲアスズ」と呼ばれていたのかもしれない。赤沢の地は京の都とかかわりがあったという伝説です。